

がん医療均てん化の評価を行う上での 問題点と解決策

	問題点	解決策
院内が ん登録	病院としての症例の登録ができていない(各診療科データの寄せ集めに過ぎない例がある)	<ol style="list-style-type: none"> 実務者(腫瘍登録士)の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ポストの確保: 技量に見合う報酬 ・質の確保(資格認定制度・学会の設立) 財源確保(診療報酬加算)
	標準方式が浸透していない	<ol style="list-style-type: none"> 標準方式を決定する中央組織 <ul style="list-style-type: none"> ・標準定義の決定・更新 ・標準システム仕様の決定・更新 標準方式を普及させる仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・教育・研修システム
	追跡不能例が多い (とくに新規登録開始施設)	<ol style="list-style-type: none"> 標準方式の基盤となる体制 <ul style="list-style-type: none"> ・カルテの記載の標準化(医師の教育) ・電子カルテへの対応(関係者・関係機関との連携)
地域が ん登録	地域全体の症例の把握が不完全である	<ol style="list-style-type: none"> 予後調査を担当する実務者の確保 地域がん登録の追跡情報利用 住民票情報の円滑利用
	追跡調査が過剰な負担となる	<ol style="list-style-type: none"> 法的整備(がん登録に関する法整備) 財政支援 院内がん登録の整備

地域がん診療拠点病院 院内がん登録標準項目 2003年度版

- : 必須項目
- : 推奨項目 (院内がん登録として蓄積することが望ましい項目)
- △ : オプション項目 (施設の目的に応じて入力する項目)

院内がん登録運用で推奨となっており、拠点病院集計への提出を行う項目については、登録の有無にかかわらず、提出項目と定義 (図解) の順に従って、出力する。推奨項目で登録を行っていない項目の場合は、空欄でデータを提出するとともに、提出項目と定義 (施設解) 従い、登録の有無についても提出する。
登録項目の選択については、施設が院内がん登録実施地域に設置されている場合、地域がん登録から要請されている項目については、院内がん登録運用の項目を必須項目とする必要がある。今回提示している地域がん登録への提出項目については、標準的な項目に過ぎない。詳細については、地域がん登録中央登録国に問い合わせの上、各施設で決定する。

大項目	項目番号	項目名	分類方法	がん診療拠点病院 院内がん登録運用 必須・推奨・オプ ションの別	拠点病院集計への提 出 (●を提出)	備考
基本情報	10	患者ID番号	自由形式	●	●	
	20	重複番号	当該施設における多量がんの有無把握するためのコード	●	●	
	30	フリカカ		○		
	40	氏名	役職別 (戸籍・住民票) による予後調査のために、通称等ではなく、本名を登録	●	●	
	50	性別	1 男 2 女 9 不明	●	●	
	60	生年月日	日付	●	●	
	70	出生地コード	01 北海道~47 沖縄 99 不詳	△	(西暦生年月を提出)	
	80	診断時郵便番号		○		
	90	診断時都道府県コード	01 北海道~47 沖縄 99 不詳	●	●	
	100	診断時住所	住所	●		
診断情報	110	当該腫瘍初診日	日付	●	(西暦年月を提出)	前医・当該施設を含め、医師によりはじめて該当がんの存在の可能性が腫瘍前に疑念をいだいた日。
	120	診断日0	日付	△		前医において該当がん初回治療前の診断のため行った検査のうち「がん」と診断する根拠となった検査を行った日。(検査の根拠については、[項目350]の番号の小さい方を優先する)
	130	診断日1	日付	●	(西暦生年月を提出)	当該施設に該当がん初回治療前の診断のため行った検査のうち「がん」と診断する根拠となった検査を行った日。(検査の根拠については、[項目350]の番号の小さい方を優先する)
	140	診断日2	日付	●	(西暦年月を提出)	当該施設に該当がん初回治療前の診断のため行った検査のうち「がん」と診断する根拠となった検査を行った日。(検査の根拠については、[項目350]の番号の小さい方を優先する)
診断情報	150	来院経路	0 自主紹介(1 他院より 2 がん検診 3 健康診断 4 人間ドック) 5 当該施設にて他疾患の経過観察中 6 別院にて 8 その他 9 不明	●	●	
	160	診断結果	1 新発生確定 2 疑診 3 治療開始後			
診断情報	170	診断時指示	1 入院 2 外来治療 3 外来経過観察 4 他院へ紹介 9 来院中断	●	●	
	180	症例区分	1 診断のみの症例 2 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 3 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例 4 新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例 5 別院による診断の症例 6 登録開始日以前の症例 8 その他	●	●	拠点病院院内がん登録においては、「診断結果 (項目170) と診断時指示 (項目180) の組み合わせ」もしくは、症例区分 (項目190) の少なくとも一方を必須とする。双方登録可能な場合は、双方登録する。
	190	告知状況	1 進行度や生命予後についての見込みなどを含めた告知 2 病名告知のみ 3 悪性以外の告知 4 精神的・身体的理由で告知できず 8 前医で告知済 9 告知の内容不詳	○	●	登録を行っていない施設の場合は、空欄でデータを提出するとともに、提出項目と定義 (施設解) 従い、登録の有無についても提出する

大項目	項目番号	項目名	分類方法	がん診療拠点病院 院内がん登録運用 必須・推奨・オプ ションの別	拠点病院集計への展 出(●を提出)	備考
腫瘍検査	200	部位コード	ICD-O-3 荷重 (T)コード4桁	●	●	原則的にICD-O-3 荷重コードにより登録する。ただし、ICD-10により登録が行われている場合は、両方に登録する必要はないが、将来的にICD-O-3の荷重コードで登録を行えるよう随時変更を行う。
	210	部位用語補足	(フリーテキスト) 部位コードで不十分と思われる場合、追加で補足内容を入力	○	●	ICD-10を部位コードとして用いている登録の場合、登録項目として推奨(O)
	220	部位の側性	1 右側 2 左側 3 片側(左右の別不明) 4 両側 9 不明もしくは正中に位置する腫瘍	●	●	側性を有しない臓器は、空欄、もしくは0
	230	ステージ (治療前)	0 0期 1 I期 2 II期 3 III期 4 IV期	○	● (主要5部位)	
	240	T		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	
	250	N		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	主要5部位のがん：「胆膵がん・診療連携拠点病院の在り方に関する検討会」で決定された部位の「膵がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、乳がん
	260	M		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	ステージ (術後病理学的) [項目270]は、手術摘出検体をもって行われた病理学的診断により判断される。腫瘍の縮小を目的とした化学療法の後、手術を施行した場合は、ステージ (治療前) [項目280]を優先し、ステージ (術後病理学的) [項目270]には、ステージを登録しない。
	270	ステージ (術後病理学的)	0 0期 1 I期 2 II期 3 III期 4 IV期	○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	
	280	pT		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	
	290	pN		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)	
300	pM		○ (主要5部位について) ● (●)	● (主要5部位)		
腫瘍検査	310	進展度 (治療前)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	●	●	進展度 (術後病理学的) [項目320]は、手術摘出検体をもって行われた病理学的診断により判断される。腫瘍の縮小を目的とした化学療法の後、手術を施行した場合は、進展度 (治療前) [項目310]を優先し、進展度 (術後病理学的) [項目320]には、進展度を登録しない。
	320	進展度 (術後病理学的)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	●	●	
	330	組織コード	ICD-O-3 形態 (M)コード (6桁)	●	●	腫瘍の縮小を目的とした化学療法の後、手術を施行した場合は、術前の組織コードを優先する。また、現在、ICD-O-2の形態コードを用いて、登録を行っている場合は、7面の欄、ICD-O-2による登録・集計時のデータの提出を可とする。
	340	組織診断名	(フリーテキスト) 組織コードで不十分と思われる場合、追加で補足内容を入力	○		腫瘍が縮小を目的とした化学療法の後、手術を施行した場合は、術前の組織コードを優先する。
	350	診断根拠	1 組織学的検査陽性 2 細胞診陽性 3 顕微鏡的診断による確認 4 組織診・細胞診以外の検体検査による結果陽性 5 がん病巣置換下の内視鏡的診断による診断 6 放射線画像診断 7 臨床診断のみ 9 不明 もしくは、顕微鏡的診断の不明	●	●	

大項目	項目番号	項目名	分類方法	がん診療拠点病院 院内がん登録運用 必須・推奨・オプ ションの別	拠点病院統計への展 出(●を展出)	備考
初回治療情報	360	X線検査	1有 2無 9不明	○		
	370	内視鏡	1有 2無 9不明	○		
	380	超音波	1有 2無 9不明	○		
	390	腫瘍T-カ	1有 2無 9不明	○		
	400	CT/MRI	1有 2無 9不明	○		
	410	骨	1有 2無 9不明	○		
	420	細胞診	1有 2無 9不明	○		
	430	組織診	1有 2無 9不明	○		
	440	腫瘍登録自由記載欄		○		
	450	初回治療開始日	日付	○		
	460	外科的治療の有無	1有 2無 9不明	●		
	470	外科的治療の施行日	日付	○		
	480	体腔鏡的治療の有無	1有 2無 9不明	○	●	
	490	体腔鏡的治療の施行日	日付	○		
	500	内視鏡的治療の有無	1有 2無 9不明	○	●	
	510	内視鏡的治療の施行日	日付	○		
	520	外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果	1 治療一完全 2 治療一不完全 3 治療一完全/不完全の別不詳 4 姑息/対症療法 8 その他 9 不詳	○		
	530	入院日(初回治療)	日付	○	●	(西暦年月を展出)
	540	退院日(初回治療)	日付	○		
	550	放射線治療	1有 2無 9不明	○	●	
	560	化学療法	1有 2無 9不明	○	●	
	570	免疫療法・BEM	1有 2無 9不明	○	●	
	580	免疫療法	1有 2無 9不明	○	●	
590	免疫療法	1有 2無 9不明	○	●		
600	PEIT	1有 2無 9不明	○	●		
610	温熱療法	1有 2無 9不明	○	●		
620	レーザー照射治療(照射)	1有 2無 9不明	○	●		
630	治療情報自由記載欄		○			
640	最終生存確認日	日付	○	●	(西暦年月を展出)	
650	死亡日	日付	○	●	(西暦年月を展出)	
660	結果	0 生存 1 死亡 9 生死不明	○	●		
670	死因	1 原病死 2 他部位のがん死 8 他病死 9 不明	○			
680	死因予ラスト		○			
690	死亡診断書発行	1 自院 8 その他 9 不明	○			
700	死亡届所	1 自院 2 他院 3 自宅 8 その他 9 不明	○			
710	解剖の有無	1有 2無 9不明	○			
720	調査方法	1 来院情報 2 死亡通院情報 3 役場照会 4 地域がん登録情報 8 その他	○	●		
730	調査日	日付	○			
740	国籍	0 日本人 1 外国人 9 不明	○			
750	本籍		△			
760	癌種名		△			
770	原新郵便番号		○			
780	原新住所		○			
790	世帯主		○			
800	診療科		○			
810	診療		○			
820	主治医		○			
830	紹介元		○			
840	紹介先		○			
850	地域がん登録		○			
860	登録日	日付	△			
		未届出 届出済み				

地域がん診療拠点病院全国集計提出用フォーマット (2003年度版)

1. 施設データ

下記の順番に従い、csvファイルにより提出する。

提出項目番号	定義	分類方法	備考
1	調査年	西暦年で記入	
2	都道府県番号	01 北海道～47 沖縄 99 不明 (選択入力)	
3	施設名	テキスト (病院名)	
4	全病床数		
5	がん専門病床割合	がん患者に割り当てる病床数が固定されている施設においては、病院全病床数とがん病床数を、固定されていない施設においては、提出指定年における全入院患者における全がん患者の合計入院日数と全非がん患者の合計入院日数との割合を算出し、全病床数とともに提出する。 $\text{がん専門病床割合} = \frac{(\text{全がん入院患者数} \times \text{全がん入院患者数の平均在院日数})}{(\text{全入院患者数} \times \text{全入院患者数の平均在院日数})}$	
6	院内がん患者死亡数	提出指定年における院内死亡患者の内、死亡診断書にがんの記載のあった数	
7	院内がん死亡患者の病理解剖数	提出指定年における院内死亡患者の内、がんの記載のあった死亡診断書のうち剖検実施例の数	
8	がん患者の平均在院日数	厚生労働省の病院報告との比較を可能にするため、病院報告において用いられている平均在院日数の算定式を用い、がん患者の平均在院日数を計算する。 $\text{がん患者の平均在院日数} = \frac{1}{2} \times (\text{年間新入院がん患者数} + \text{年間退院がん患者数})$	
9	提出腫瘍数 (診断年調査)	指定された診断年における提出腫瘍数	
10	登録腫瘍対象 (診断年調査)	登録している対象	
11	提出腫瘍数 (n年後調査)	指定されたn年後調査年における提出腫瘍数	n年後調査が複数の場合もある。 例) 5年後調査、10年後調査など
12	登録腫瘍対象 (n年後調査)	登録している対象	

提出項目番号	定義	分類方法	備考
	種別番号	1 登録事項 2 非登録事項	
	性別	1 登録事項 2 非登録事項	
	生年月日	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断時都道府県コード	1 登録事項 2 非登録事項	
	当該腫瘍初診日	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断日1	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断日2	1 登録事項 2 非登録事項	
	来院経路	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断結果	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断時指示	1 登録事項 2 非登録事項	
	症例区分	1 登録事項 2 非登録事項	
	告知状況	1 登録事項 2 非登録事項	
	部位コード	1 ICD-O-3もしくはICD-O-2 2 ICD-10 3 その他 4 非登録事項	
	部位用語補足	1 登録事項 2 非登録事項	
	部位の側性	1 登録事項 2 非登録事項	
	ステージ (治療前)	1 登録事項 2 非登録事項	
	T	1 登録事項 2 非登録事項	
	N	1 登録事項 2 非登録事項	
	M	1 登録事項 2 非登録事項	
	ステージ (術後病理学的)	1 登録事項 2 非登録事項	
	pT	1 登録事項 2 非登録事項	
	pN	1 登録事項 2 非登録事項	
	pM	1 登録事項 2 非登録事項	
	進展度 (治療前)	1 登録事項 2 非登録事項	
	進展度 (術後病理学的)	1 登録事項 2 非登録事項	
	組織コード	1 登録事項 2 非登録事項	
	診断根拠	1 ICD-O-3 2 ICD-O-2 3 その他 4 非登録事項	
	外科的治療の有無	1 登録事項 2 非登録事項	
	体腔鏡的治療の有無	1 登録事項 2 非登録事項	
	内視鏡的治療の有無	1 登録事項 2 非登録事項	
	入院日 (初回治療)	1 登録事項 2 非登録事項	
	放射線治療	1 登録事項 2 非登録事項	
	化学療法	1 登録事項 2 非登録事項	
	免疫療法・BRM	1 登録事項 2 非登録事項	
	内分泌療法	1 登録事項 2 非登録事項	
	TAE	1 登録事項 2 非登録事項	
	PEIT	1 登録事項 2 非登録事項	
	温熱療法	1 登録事項 2 非登録事項	
	レーザ一等治療 (焼灼)	1 登録事項 2 非登録事項	
	腫瘍生存確認日	1 登録事項 2 非登録事項	
	死亡日	1 登録事項 2 非登録事項	
	結果	1 登録事項 2 非登録事項	
	調査方法	1 登録事項 2 非登録事項	
13	個票1-1々項目の登録状況		
14	院内がん登録に関する記述	フリーテキスト	「標準項目とその定義」と異なる定義により登録を行っている場合、その記述を行う。 例) 多重がんの定義については医師の判断による多重がんを登録している

地域がん診療拠点病院全国集計提出用フォーマット(2003年度版)

II. 個票データ

個票データ集出手順

1. 調査用日付を、「診断日2 [項目番号140]」>「当該腫瘍初診日 [項目番号110]」>「当該腫瘍初回入院日 [項目番号530]もしくは、入院日 (初回治療) [項目540]の優先順位により選択する。
2. 調査用日付が、調査指定年の1月1日から12月31日の間にある症例を抽出。調査指定年は、比較的最近の登録に関する調査年 (予後情報なし) と予後情報を含む調査年の複数年を指定する (前者は、予後情報については、空欄)。
3. さらに、症例区分 [項目番号180]が、「1, 2, 3」の症例、もしくは、診断結果 [項目番号160]が、新発生 (確診) の症例を抽出
4. 集計必須項目以外は削除
5. 抽出症例に連番をつける。
6. CSV形式で書き出し、地域がん診療拠点病院全国協議会事務局に郵送する。

※印は、登録情報には含まれていないが、個票提出時に別途抽出もしくは計算し、個票データに加える必要のあるもの。

項目番号	項目名	形式	備考
※	施設名	施設名を記入 (テキスト)	
※	連番	提出時に抽出した個票に対し、適当な連番を振る	
※	調査指定年	調査指定年を記載	
20	重複番号	その施設における患者の腫瘍番号 1 第1がん, 2 第2がん, ...	
50	性別	1 男 2 女 9 不明	
60	生年月日	西暦年月のみ	
90	診断時都道府県コード	01 北海道~47 沖縄 99 不明	
110	当該腫瘍初診日	西暦年月を提出	
130	診断日1	西暦年月を提出	
140	診断日2	西暦年月を提出	
150	来院経路	0 自主 紹介(1 他院より 2 がん検診 3 健康診断 4 人間ドック) 8 その他 9 不明	
160	診断結果	1 新発生確診 2 疑診 3 治療開始後	
170	診断時指示	1 入院 2 外来治療 3 外来経過観察 4 他院へ紹介 9 来院中断	
180	症例区分	1 診断のみの症例 2 診断ならびに初回治療に関する決定・施行がなされた症例 3 他施設で診断確定され、自施設で初回治療方針に関する決定・施行が行われた症例 4 新発生初回治療開始後の継続治療の症例、もしくは、再発の症例 5 剖検による診断の症例 6 登録開始日以前の症例 8 その他	拠点病院院内がん登録においては、「診断結果 (項目170) と診断時指示 (項目180) の組み合わせ」もしくはは、症例区分 (項目 (190) の少なくとも一方を必須とする。双方登録可能な場合は、双方登録する。
190	告知状況	1 進行度や生命予後についての見込みなどを含めた告知 2 病名告知のみ 3 悪性以外の告知 4 精神的・身体的運田で告知できず 8 前医で告知済 9 告知の内容不詳	

項目番号	項目名	形式	備考
200	部位コード	ICD-O-3 局在 (T)コード4桁 (フリーテキスト)	もしくは、ICD-10
210	部位用語補足	部位コードで不十分と思われる場合、追加で補足内容を入力	
220	部位の側性	0 もしくは空欄 側性を有しない臓器 1 右側 2 左側 3 片側(左右の別不明) 4 両側 9 不明もしくは正中に位置する腫瘍	
230	ステージ (治療前)	0 0期 1 I期 2 II期 3 III期 4 IV期 X TX 0 TO 1s T1s 2 T2 3 T3 4 T4 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
240	T	X NX 0 NO 1 N1 2 N2 3 N3 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
250	N	X MX 0 MO 1 M1 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
260	M	0 O期 1 I期 2 II期 3 III期 4 IV期	主要5部位のみ
270	ステージ (術後病理学的)	0 O期 1 I期 2 II期 3 III期 4 IV期 X pTX 0 pTO 1s pT1s 2 pT2 3 pT3 4 pT4 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
280	pT	X pNX 0 pNO 1 pN1 2 pN2 3 pN3 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
290	pN	X pMX 0 pMO 1 pM1 9 不明 空欄 対象外の臓器	主要5部位のみ
300	pM	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	主要5部位のみ
310	進展度 (治療前)		

項目番号	項目名	形式	備考
320	進展度 (術後病理学的)	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	
330	組織コード	ICD-O-3 形態 (M)コード (6桁)	もしくは、ICD-O-2
350	診断根拠	1 組織学的検査陽性 2 細胞診陽性 3 顕微鏡的診断による確認 4 組織診・細胞診以外の検体検査による結果陽性 5 がん病巣直視下の肉眼所見による診断 6 放射線画像診断 7 臨床診断のみ 9 不明 もしくは、顕微鏡的診断の不明	
460	外科的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	
480	体腔鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	
500	内視鏡的治療の有無	1 有 2 無 9 不明	
530	入院日 (初回治療)	西暦年月を提出	
550	放射線治療	1 有 2 無 9 不明	
560	化学療法	1 有 2 無 9 不明	
570	免疫療法・BRM	1 有 2 無 9 不明	
580	内分泌療法	1 有 2 無 9 不明	
590	TAE	1 有 2 無 9 不明	
600	PEIT	1 有 2 無 9 不明	
610	温熱療法	1 有 2 無 9 不明	
620	レーザー等治療 (焼灼)	1 有 2 無 9 不明	
640	最終生存確認日	西暦年月を提出	西暦年月を提出
650	死亡日	西暦年月を提出	西暦年月を提出
660	結果	0 生存 1 死亡 9 生死不明	
720	調査方法	1 来院情報 2 死亡退院情報 3 役場照会 4 地域がん登録情報 8 その他	
※	起算日から最終生存確認日もしくは死亡日までの日数	起算日から最終生存確認日もしくは死亡日までの日数	起算日：原則的に、診断日2[項目140]をもって起算日とする。診断日2の記載がカルテ等にならない場合、当該腫瘍初診日[項目110]をもってこれに当てる。初診日の記載がない場合は、入院日[項目610]をもって起算日とする。